

広報用実績のまとめ

平成 30 年度

団体名	おかやま演劇サロン
代表者	角野功一
掲載者	桑守正範
所在地(市区町村名のみ)	岡山市
活動目的	岡山県内の映画・舞台創作団体(演劇・ミュージカル・朗読・ダンスなど)が互いに親睦を深めることを目的に2014年1月1日発足。
団体の紹介	定期的開催する「えんげきサロン」を主な活動とし、会員相互の情報交換及び研修に努めています。また、広く創作活動に興味を持つ人々との交流を図っています。また過去2回におきまして参加団体、および個人会員が結集し、団体の枠を超えた「演JAMを2016年1月、2018年8月に実施もしています。
助成を受けての活動内容	<p>再建60周年を迎えた後楽園能舞台に於いて、後楽園夏の幻想庭園の一企画として平成30年8月25日(土)18:30より再建60周年を迎えた後楽園能舞台に於いて、後楽園夏の幻想庭園の一企画として平成30年8月25日(土)18:30より、狂言・現代劇・ミュージカル融合劇「空を飛んだ男と雲の上のお殿様」を上演した。観客動員数は約170名であった。本申請活動の実施は岡山県の魅力を県内外に発信し、地域住民には岡山の魅力を再認識させ、狂言、現代劇、ミュージカルという異なる表現法をミックスさせ、新たな演劇表現法を生み出すことを目的として行った。申請活動の結果、日本古来の伝統芸能である狂言の新しい表現法を提案できた。また、演劇・ミュージカル分野においても能舞台という新しい表現の場が提供された。観客には岡山の魅力を再認識させることができ、岡山県の魅力を県内外に発信することが出来た。</p> <p>(演目、曲目、あらすじ、主な出演者、主なスタッフ等又は展示作品の種類・点数、主な作品名・出品者名、展示内容 等)</p> <p>演目:空を飛んだ男と雲の上のお殿様 曲目:まめ幸独唱、おいらの名前はまめ幸、芸者衆踊り唄、空を飛べたら、お殿様?、眠りに、役人ロック、叶わぬ夢、刑吏の歌、愛する岡山を</p> <p>あらすじ:今から200年以上前の江戸中期、この岡山で世界初の人力飛行を試みたと言われる人物がいた。「鳥人」として知られる幸吉はおとなしく真面目で腕の良い表具職人だった。彼はなぜ突然空を飛ぶなどという突拍子もないことをしでかしたのか。そのころ岡山を治めていたのは第5代備前岡山藩主、池田治政。参勤交代で江戸から帰ると「京橋から空を飛んだ町人」が人身騒乱の罪で奉行所に捕らえられていると聞く。剛毅な性格の治政は前代未聞の事件を面白がり、幸吉に興味を持つ。岡山に実在し、同じ時代を生きた2人を主人公とした物語を、狂言+ミュージカル+現代劇という新しい手法で描く新感覚の舞台。岡山藩主達が愛した後楽園の能舞台でお贈りする、時代劇ファンタジー。</p> <p>主な出演者:田賀屋狂言会有志、みゆーじかる劇団きんちやい座、劇団ひびき、その他公募やおかやま演劇サロン個人会員 主なスタッフ:脚本・演出/吉田摩弥子(CINEMA FACTORY)、狂言指導/田賀屋夙生(田賀屋狂言会)、作曲/竹内大貴(フリー)、 作舞/山岡典子(山岡舞踊研究所)</p>
助成を受けての成果	日本古来の伝統芸能である狂言の新しい表現法を提案できた。また、演劇・ミュージカル分野においても能舞台という新しい表現の場が提供された。観客には岡山の魅力を再認識させることができ、岡山県の魅力を県内外に発信することが出来た。
今後の活動の課題点	主となる加盟団体が4団体となっており、岡山県内の他の演劇団体との連携が未だ不十分である。また、本事業は夏期であり、今年度は酷暑の影響もあり、観劇中に体調を崩される観客も出た。
問い合わせ連絡先もしくは、ホームページアドレス(加入希望の方などへのお知らせなど)	〒700-0831岡山県岡山市北区京橋町9-25石産ビル3F あとりえレイバン おかやま演劇サロン http://okayamaengekisonline.wixsite.com/ok-ensalo

※ このページは、財団ホームページや印刷物などで公表される資料として使用される場合があります。
A4用紙1枚程度におまとめください。(他の報告書との重複可)
写真・チラシ・パンフレット(PDFもしくは、画像)等を添付していただいても結構です。

狂言+ミュージカル+時代劇「空を飛んだ男と雲の上のお殿様」 風景及び出演スタッフ



助成：マルセンスポーツ・文化振興財団

